

第24回 全国街路事業コンクール

全国街路事業促進協議会会長賞

兵庫県 中播磨県民局

JR山陽本線等姫路駅付近連続立体交差事業

都市名	姫路市	事業主体	兵庫県
-----	-----	------	-----

事業概要

兵庫県播磨地域の中心都市である姫路市は、東西にJR山陽本線、北に播但線、北西に姫新線、南西に飾磨港線（昭和61年廃止）が平面で通っており、さらに駅付近に広大な車両基地や貨物基地が立地していた。そのため、都心部は鉄道施設によって分断され、駅の南北で土地利用に格差が生じていたことや、南北に横断する道路が十分でないことから特定路線に交通が集中し、交通渋滞が慢性化するなど、都市機能に大きな障害を及ぼしていた。

本事業は、これらの弊害を抜本的に解消し、地域の道路ネットワークを全面的に改善強化するとともに、市街地の一体化による魅力的なまちづくりを促進するものである。本事業により、踏切に起因する交通渋滞が解消されるとともに、関連街路整備により道路ネットワークが改善され、中心市街地における交通状況が大幅に改善された。

- 事業延長：6,629m
- 効果延長：山陽本線4,260m、姫新線1,333m、播但線1,036m
- 事業費：約632億円
- 事業期間：昭和63年度～平成22年度

表彰理由

本事業箇所は線路や跨線橋が輻輳する事業困難箇所であったが、見事事業を完了させ、踏切遮断による交通渋滞を解消したことが高く評価された。

また、新たに生み出された高架下空間について、歩行者用自由通路や駐輪場など多目的に利用できるよう造られている点も評価が高かった。さらには、本事業により約2.5倍の面積に広がった駅北広場の今後の整備に期待が持たれた。

